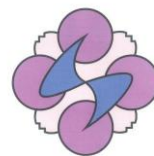
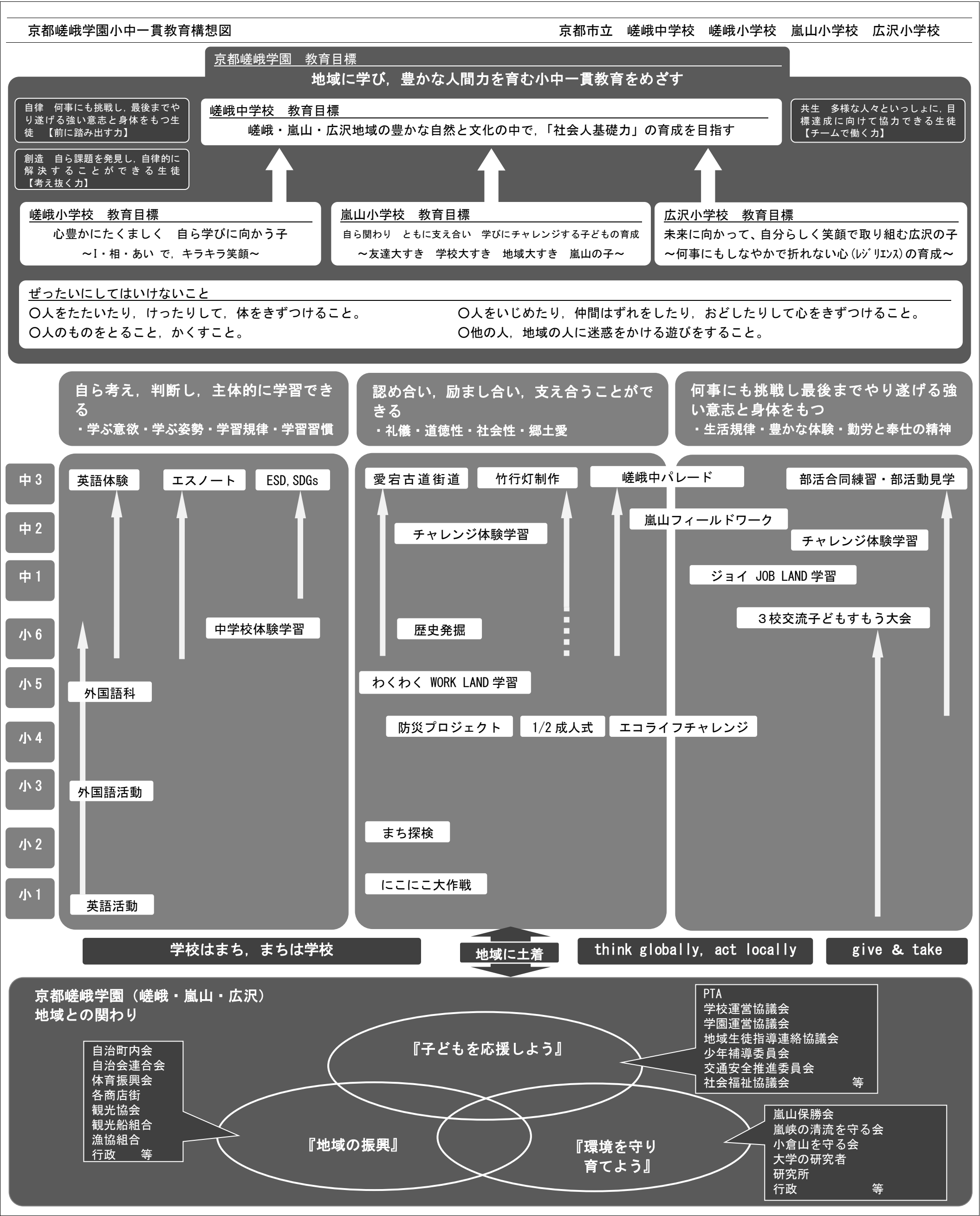


嵯峨中学校ブロックの小中一貫教育



小中一貫教育構想図

※本構想図は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、変更することがあります。



軸となる取組・活動

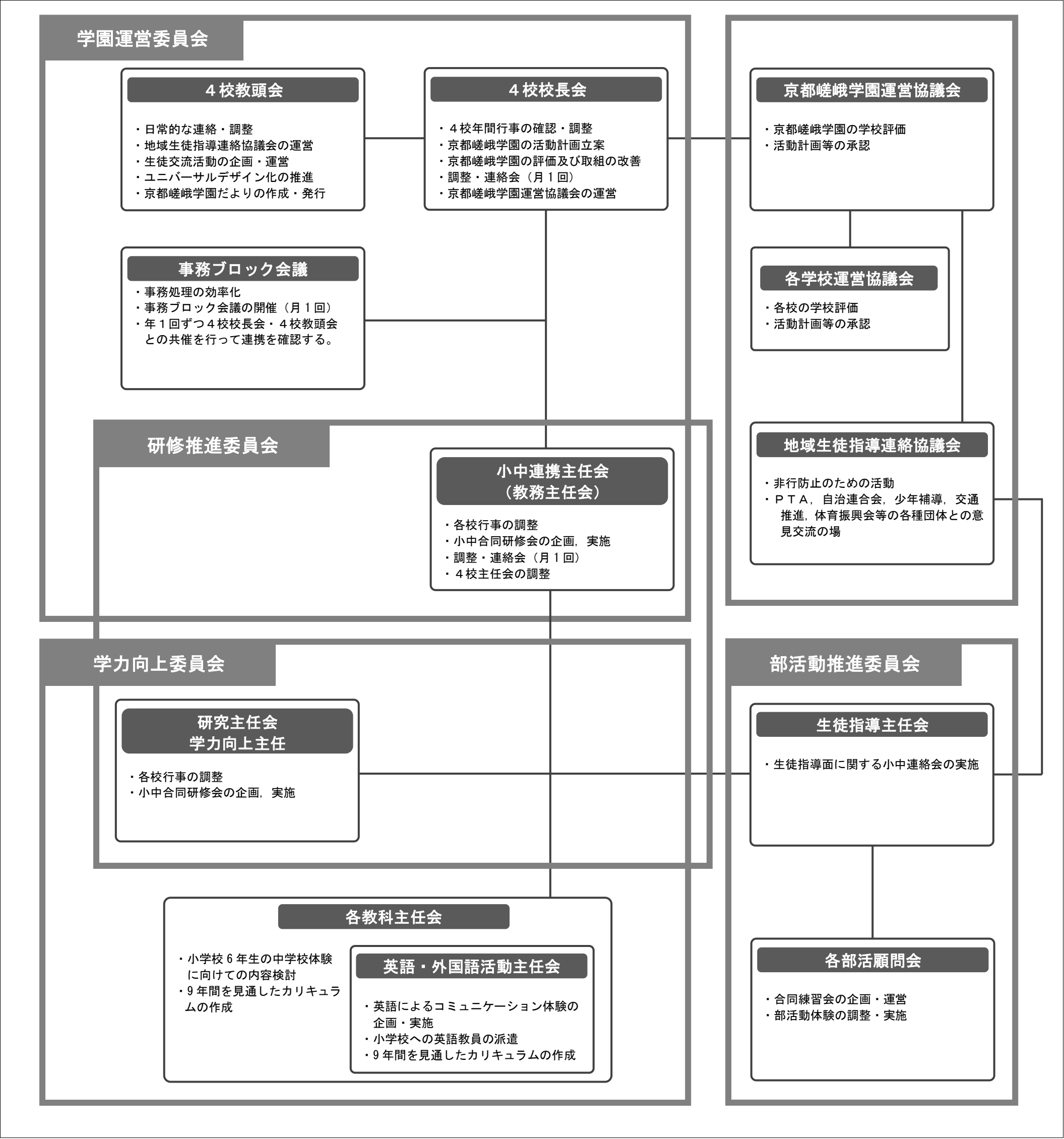
義務教育卒業時につけたい力 ○身近な話題についての理解や表現，簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力 ○文法訳読に偏ることなく，互いの考えや気持ちを英語で伝え合うコミュニケーション能力 ○異国の言語や文化に興味関心をもち，積極的にかかわろうとする力								
英語（外国語）教育								
学年または学年区分ごとにめざす姿 ・ゲームや歌などを通じて，簡単な英語表現に親しむことができる。 ・英語を使って，友達とコミュニケーションを図ることができる。		・ゲームや歌などを通じて，身近な英単語や簡単な英語表現に親しむことができる。 ・英語を使って，友達とコミュニケーションを図ることができる。		・身近で簡単なことについて英語で話したり聞いたりすることができる。 ・アルファベットや単語に親しみ，読んだり書いたりすることに興味関心を持つ。 ・英語を使って，友達やALTとコミュニケーションを図ることができる。		・初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 ・初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。 ・英語を読むことに慣れ親しみ。初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。 ・英語で書くことに慣れ親しみ，初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。		
小 1 （1 年）	小 2 （2 年）	小 3 （3 年）	小 4 （4 年）	小 5 （5 年）	小 6 （6 年）	中 1 （7 年）	中 2 （8 年）	中 3 （9 年）
＜嵯峨・嵐山小学校の取組＞ ・年間 20 時間の英語活動を通して，英語に親しみ，友だちとのやりとりを楽しむ。 ・多様な場面で活用できる表現を精選するとともに，使用表現を用いる必然性が生まれる単元計画を構成する。		＜嵯峨・嵐山小学校の取組＞ ・年間 35 時間の外国語活動を通して，英語に親しみ，自分の思いを工夫して表現する。 ・多様な場面で活用できる表現を精選するとともに，使用表現を用いる必然性が生まれる単元計画を構成する。		＜嵯峨・嵐山・広沢小学校の取組＞ ・年間 70 時間の外国語科の活動を通して，読むこと，書くことに慣れ親しみ，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。 ・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，身近で簡単な事柄について，聞いたり話したりするとともに，音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり，語順を意識しながら書いたりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合う。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め，他者に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。		＜嵯峨通学校の取組＞ ・年間 140 時間の授業において様々な場面・状況を設定し，必然性のあるコミュニケーション活動の活性化を図り，場面や状況にあった適切な表現を考え，活用する能力を育成する。 ・基本的な語句や文法事項の定着を図るため，授業での演習の機会や家庭学習の課題を工夫する。		
＜広沢小学校＞ ・年間 25 時間の英語活動を通して，英語の音声やごく基本的な表現に慣れ親しむ。 ・身近でごく簡単な事柄について，英語で聞いたり話したりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合う。 ・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。		＜広沢小学校の取組＞ ・年間 35 時間の外国語活動を通して，言語や文化について体験的に理解を深め，日本語と外国語の音声に気付くとともに，外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。 ・身近で簡単な事柄について，外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う。 ・言語やその背景にある文化に対する理解を深め，相手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。		・担任・ALT とともに，ゲームや歌などを通して，英語表現・身近な英単語力を広げる。 ・アルファベットや単語に親しみ，読んだり書いたりするする機会を増やす。 ・中学校英語教員による英語指導を取り入れる。		・英語教員，ALT とともに，身近な話題について理解や表現，情報交換できるコミュニケーション力をつける。 ・小学校の外国語活動への指導助言を行い，中学校との接続がスムーズにはかれるようにする。		
＜中学校ブロックとしての取組＞ ・担任・ALT とともに，ゲームや歌などを通じて，英語表現・身近な英単語に触れ，表現していく。 ・中学校英語担当と連携を図り，小学校低学年における英語活動についての共通理解をする。		・担任・ALT とともに，ゲームや歌などを通じて，英語表現・身近な英単語力を広げる。 ・中学校英語担当と連携を図り，小学校中学年における外国語活動についての共通理解をする。		・担任・ALT とともに，ゲームや歌などを通して，英語表現・身近な英単語力を広げる。 ・アルファベットや単語に親しみ，読んだり書いたりするする機会を増やす。 ・中学校英語教員による英語指導を取り入れる。		・英語教員，ALT とともに，身近な話題について理解や表現，情報交換できるコミュニケーション力をつける。 ・小学校の外国語活動への指導助言を行い，中学校との接続がスムーズにはかれるようにする。		

軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力 ○自らの可能性を信じ、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしく生き抜く力 ○様々な知識や技能を獲得し自ら進んで学ぶ力 ○人と人との絆の大切さを実感し、社会や家庭の中で自己の役割を果たす力 ○嵯峨嵐山地域の伝統と文化に触れ、誇りをもって大切に受け継ごうとする力 ○社会におけるルールやマナーの必要性を理解し、規範意識を高め自分で正しい判断ができる力 地域協働								
学年または学年区分ごとにめざす姿 ・わからないことを尋ねながら、解決しようと努力する。 ・友だちや集団と共に行動することの楽しさを感じ、集団や家族の役に立つ喜びを知る。 ・嵯峨嵐山の地域を知り、身近に働く人々の様子に気付く。 ・身近な地域や環境の中でお世話になっている人に感謝する。 ・良いこと悪いことを考えて行動する。		・課題を解決する計画を立てて、取り組むことができる。 ・身近な集団の中で役割を考えて行動し、地域や家庭で責任をもって自分の仕事をしようとする。 ・嵯峨嵐山の地域に学び、自分を取り巻く地域社会や人々の活動を知る。 ・自分の生活を支えている人に感謝する。 ・自分のやりたいこと、良いと思うことを考えて行動する。		・解決のための調査や情報収集等、適切な計画を立てて取り組むことができる。 ・所属する集団や家庭のためにできることや役割を考え行動する。 ・嵯峨嵐山の地域を理解し、様々な体験を通して、伝統や文化を守っている人々の思いを地域に発信する。 ・相手の立場に立って考え、自分と異なる考えや、人の優しさ、思いやりを受け止める。 ・自分の行動について自己判断・自己決定し、主体的に行動する。		・お互いに個性を尊重し、人間関係の大切を理解し、積極的に関係を図る。 ・地域の伝統を大切にし、地域の活動に積極的に参加する ・よりよい生き方をめざす上での課題を見いだすことの大切さを理解し、その課題について積極的に取り組み、主体的に解決する。 ・さまざまな ICT を活用して、調査や資料を収集し、プレゼンテーションをする。		
小 1 （ 1 年 ）	小 2 （ 2 年 ）	小 3 （ 3 年 ）	小 4 （ 4 年 ）	小 5 （ 5 年 ）	小 6 （ 6 年 ）	中 1 （ 7 年 ）	中 2 （ 8 年 ）	中 3 （ 9 年 ）
＜嵯峨小学校の取組＞ ・がっこうたんけん ・いきものとなかよし虫捕り ・むかしあそび ・にこにこだいさくせん	・町たんけん ・育てよう 野菜作り・収穫 ・生き物はかせ	・嵯峨を盛り上げる人々 ・嵯峨の後継者 ・お年寄りへの手紙	・防災意識 UP プロジェクト ・嵯峨から広がるものづくり魂 ・嵯峨面作り ・モノづくりの殿堂、工房学習 ・ジュニア京都検定 ・エコライフチャレンジ	・これが私の生きる道 ・嵯峨食大使はじめました ・愛宕古道街道灯 ・ジュニア京都検定	・嵯峨の未来に残したい室 ・おもてなしの心を学ぼう（茶の湯体験） ・愛宕古道街道灯 ・ジュニア京都検定 ・嵯峨中パレード ・花校路	＜嵯峨中学校の取組 > SDG s （持続可能な開発目標）の実践 「やってみる！」 ・嵯峨中パレード”ものづくり工房” ・地域を飾る竹行灯制作”ジョイ JOB LAND”で学ぶ	「つくっていく！」 ・地域で学ぶ”生き方探究・チャレンジ体験” ・嵯峨嵐山の環境を考える”嵐山フィールドワーク(嵐山環境教育事業)”	「ひろめていく！」 ・<ふるさと>を考える”修学旅行” ・地域とともに”嵯峨中パレード”の企画・運営
＜嵐山小学校の取組> ・がっこうたんけん ・いきものとなかよしれんげつみ・虫捕り ・むかしあそび ・にこにこだいさくせん	・嵐山の街たんけん ・育てよう 野菜作り・収穫 ・生き物はかせ	・中山公園広め隊！（自分たちの町「嵐山」の魅力） ・竹林のひみつ	・モノづくりの殿堂、工房学習 ・友禅体験 ・エコライフチャレンジ ・1/2 成人式 ・共に生きる街 嵐山（高齢者を支援する仕組みや人々） ・嵐山防災プロジェクト	・和食の魅力 ・精進料理・京料理体験 ・私と仕事（職場体験学習）	・嵐山歴史の発掘 ・京都発見ラリー ・世界の仲間とともに ・伝えよう日本の魅力（伝統文化） ・茶道・華道体験	＜地域行事への参加＞ ・嵯峨祭 ・野宮斎宮行列 ・区民体育祭 ・敬老交流会 ・防災訓練 ・竹穂垣の修繕 ・嵐山森林育樹の日 ・小倉山植樹 ＜地域との共同事業＞ ・嵯峨中パレード ・3 校交流子どもすもう大会 ・生き方探究チャレンジ体験学習 ・嵐山フィールドワーク		
＜広沢小学校の取組＞ ・なかよしいっぱいだいさくせん ・いきものとなかよしれんげつみ ・あきといっしょに虫捕り ・ふゆともだちむかしあそび（社会福祉協議会・佛大附属幼稚園との連携） ・みんなのにこにこだいさくせん	・広沢町たんけん ・広沢ファーム 野菜作り・収穫 ・生き物はかせ	・広沢地域の自然を調べよう 広沢地域の自然探検（広沢池，有栖川の生き物，運動場自然観察） ・みんなで生きるやさしい広沢 高齢者や体に不自由を抱えている人たちとの交流（社会福祉協議会，老人ホームとの連携）	・環境エコプロジェクト 自然エネルギー学習 ・エコライフチャレンジ ・1/2 成人式 ・防災プロジェクト 地域の防災の取組（消防団・自主防災会との交流） 災害に強い町にする取組の発信	・輝かそう！未来の自分 働く人へのインタビュー 働くことに対する自己の将来像 ・わくわく WORK LAND	・広沢歴史探検隊 地域の古墳 フィールドワーク 佛教大学宗教ミュージアム 伝統文化体験 箏・茶道・華道・嵯峨狂言体験など			
＜中学校ブロックとしての取組＞ ・地域の方やお年寄りと触れ合い、関わりを持つことで、地域に愛着を感じ、自分が今住んでいる地域を大切に思う心や態度を育てる。 ・見学を通して様々な人と交流することで、児童の学ぶ意欲を高め、言語活動の充実を図る。		・自分たちが地域の人々に支えられて生活していることに気付き、地域とよりよく関わろうとする態度を育てる。将来に向けた夢や希望を意識させ、その現実への意欲を高める。 ・自ら調べたり、考えたりしてわかったことをまとめ、わかりやすく発表する力を育てる。		・体験活動を通して、嵯峨嵐山の魅力に触れ、自分の郷土に誇りを持つ契機とする。 ・地域の伝統文化を守ると共に、自らの行動で新たな課題を解決したり、社会を変えていったりすることができるという意識と行動力を育てる。		・京都や地域のもつ魅力に触れるために、地域社会に出て行き、さまざまなことにチャレンジしてみる。 ・京都人の一員としての自分を知る機会をつくる。	・職業体験を通して、自分の適正や将来の仕事について考え、実践し、自分のキャリアを高め、発信していく。 ・自分の住む地域社会を知り、自分ができていることを考える。	・自己の未来について考え、仲間と共に考え、自分の「生き方」について考える。 Think globally, Act locally の考えのもと、持続可能な発展に向けた社会づくりをアピールしていく。

		小 学 校					中 学 校			
		小 1 （ 1 年 ）	小 2 （ 2 年 ）	小 3 （ 3 年 ）	小 4 （ 4 年 ）	小 5 （ 5 年 ）	小 6 （ 6 年 ）	中 1 （ 7 年 ）	中 2 （ 8 年 ）	中 3 （ 9 年 ）
学習の基本	学 習 に 向 か う 姿 勢									
	学習準備	机の上に必要な物をそろえておく				学習に必要な物を準備確認する				
	時間	始まりの時刻を大切にす				時計を見て席に着き，学習を始められるようにする		時間を見て行動し，ベルで授業ができるようにする。		
	めあて	目的意識を持って学習する。めあてとふりかえりを大切にす								
学 び 方	相手を意識した話し方・聞き方・音読・黙読									
	話し方	・指名されたら「はい」と返事をして立って話す ・全員に聞こえる声の大きさと相手の方を向いて話す ・口を大きく縦にあけて，はっきりと話す。 ・「～です。」「～ます。」と丁寧なことばで話す。		・指名されたら「はい」と返事をして立って話す。 ・全員に聞こえるように，明瞭に話す ・相手や場にあった話し方をする。 ・相手のほうを向いて話す。		・指名されたら「はい」と返事をして，立って話す。 ・全員に聞こえるように，明瞭に話す。 ・話し合いの場や相手に応じた言葉づかいで話す。 ・目的や意図をはっきりさせてわかりやすく話す。			・適切な声の大きさと話す。 ・話し合いの場や相手に応じた言葉づかいで話す。 ・目的や意図をはっきりさせ，わかりやすく話す。 ・相手の意見を聞き，自分の考えを明確に表現する。	
	聞き方	・姿勢を正しくして聞く。 ・話をする人のほうを向いて聞く。 ・最後までしっかり聞く。		・姿勢を正しくして聞く。 ・話をする人のほうを向いて聞く。 ・最後までしっかりと聞く。 ・うなずくなどして，自分の考えと比べながら聞く。		・話をする人を見て，正しい姿勢で聞く。 ・最後までしっかり聞く ・必要に応じてメモを取りながら聞く。 ・自分の考えと比較しながら聞く。			・話をする人を見て，正しい姿勢で聞く。 ・必要に応じてメモを取りながら聞く。 ・自分の考えと比較しながら聞く	
	音読 黙読	・姿勢を正しくして大きな声で読む。 ・文章を最後まで読む。		・姿勢を正しくしてはっきり大きな声で読む。 ・少し長い文章でも最後まで読む。		・姿勢を正しくして相手を意識して読む。 ・複雑な文章でも最後まで読む。			・姿勢を正しく，相手を意識し，その場に応じた読み方をする。 ・難解な文章でも最後まで読む。	
	見やすく分かりやすいノートづくり									
	書き方	＜ノートの基本＞ （1年生） ・正しく丁寧な字で書く。 ・日付を書く。 ・めあてを書く。 ・マス目からはみ出さないように書く。 ＋ （2年生） ・行をかえて，見やすく書く。		＜ノートの基本＞ ・文字の形を整えて，丁寧に書く。 ・日付を書く。 ・めあてを書く。 ・マス目からはみ出さないように書く。 ・マス目や行をほどよくあけて，見やすく書く。 ・色えんぴつ（赤や青）を使って書く。 ・線は定規を使って引く。 ・大事なところは，線を引いたり囲んだりする。		＜ノートの基本＞をふまえた書き方 ＋ ・学習内容や大事な事柄が見えやすいノートをつくる。 ・先生や友達の発言，自分の考え，学習のポイントなどを付け加えるなどして，見やすくわかりやすくまとめる。			＜ノートの基本＞をふまえた書き方 ＋ ・学習内容を整理し，見直しに活用できるノートを作成。 ・先生や友達の発言，自分の考え，班の考え，皆の考えなど工夫して書く。 ・学習のポイントを付け加えるなど，工夫してまとめる。	
	ユニバーサルデザインを活かした教室環境の整備（小中間での色，配置の統一）									
家 庭 学 習	自 学 自 習 の 姿									
		宿題や読書を進んでする		宿題や読書，自主学習を進んでする		宿題や読書，自主学習に自ら創意工夫して取り組む				
	時間	15 分	30 分	45 分	60 分	75 分	90 分	2 時間		2～3 時間
	内容例	○スキル型…繰り返して定着する ・音読 ・漢字・計算（ドリル・プリント） ※自主学習の仕方をいくつか経験する（例） ・読書 ・視写 ・作詞や作文 ・掛け算九九の暗証（2年生）		○スキル型…繰り返して定着する ○復習・振り返り型…学習の整理・確認をする ・音読 ・漢字・計算（ドリル・プリント） ・自主学習（例） ・読書 ・ことばの意味調べ ・ローマ字の練習 ・理科や社会のまとめ		○スキル型…繰り返して定着する ○復習・振り返り型…学習の整理・確認をする ○予習・拡充型…学習の続きや予習をする。 ○調べ・探究型…興味を持ったことを調べる ・音読 ・漢字・計算（ドリル・プリント） ・自主学習（例） ・ことばの意味調べ ・これから学習するところの予習 ・新聞の切り抜き ・興味あることを本やインターネットで調べる。			○自主学習 ・教科書，資料集，プリントを活用した予習，復習（振り返り，要点まとめ，調べ学習，音読など） ・ワークを使った振り返り，予習 ・定期テストに向けた学習 ・進路実現に向けた3年間の総復習（3年生） ・興味あることの発展的学習 ○授業の振り返り学習 ・その時間の振り返りを行い，家庭学習で学習内容の確認を行う ・単元レポートで振り返りをおこなう。	
					エスノート	エスノートを使用し，自主学習の仕方や持ち物，下校後のスケジュールなど計画的にする。		エスノートを活用することで，家庭での時間の使い方を工夫し，学習計画を立てる。		

小中一貫教育推進体制



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

- 京都嵯峨学園（小中一貫校）の設定・周知
- シンボルマークの活用，京都嵯峨学園のぼりの設置・活用
- 京都嵯峨学園運営協議会の設置・活用
- 京都嵯峨学園評価アンケートの実施・分析
- 京都嵯峨学園の年間行事計画の発行
- 京都嵯峨学園の活動のHPによる発信
- 地域との協働（嵯峨中パレード）